

事業名 CD	0103010101	社会福祉協議会支援事業
細分化した事業名	社会福祉協議会支援事業	
事業担当課室 CD	200300	福祉課
		整理コード

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	誰もが安心して暮らせるまちづくり
	中項目	地域の絆を深める福祉社会の実現
	小項目	地域福祉体制の確立
関連する個別計画等	韮崎市地域福祉計画	根拠条例等
関連する事業		

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	社会福祉協議会への支援を通じ、地域福祉に関する事業の充実を図る
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	社会福祉協議会が実施する地域福祉の推進を目的とする事業、及び人件費
これまでの改善経過	
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	<p>〈実施・運営方法〉 <input type="checkbox"/>市 <input type="checkbox"/>委託 <input checked="" type="checkbox"/>補助金 <input type="checkbox"/>その他( )</p> <p>社会福祉協議会が実施する「ふれあいのまちづくり事業」、及び事務局長等協議会職員の人件費を補助する。</p> <p>○ふれあいのまちづくり事業 実施事業：ふれあい福祉推進事業 社協だより&amp;ボランティアだより発行 在宅福祉事業 在宅障害(児)者ふれあい交流交歓会 ひとり暮らし老人ふれあい交流交歓会 介護者の集い 福祉活動啓発事業 ボランティア大会 小中学生ボランティア体験教室 ボランティア講座 等</p> <p>○事務局長等人件費補助 補助対象：社会福祉協議会事務局長 福祉活動専門員 福祉活動コーディネーター</p>
事業の成果 (どのような状態にした いのか) (どのような効果を得る のか)	地域福祉の推進を目的とする事業の充実を図り、地域福祉の向上に資する。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		20年度	21年度	22年度
A	事業費 (千円)	14,187	9,845	11,489
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	14,187	9,845	11,489
B	担当職員数(非常勤 職員E) (人)	0.00 0.05	0.00 0.05	0.00 0.05
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	345	341	336
D	総事業費(A+C) (千円)	14,532	10,186	11,825
*参考	H22)市民1人当りの事業コスト	370 円	H22)市民1人当りの行政サービス費用	599,027 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。

注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)、22年度(6,719千円)を使用しています。

注3)一般財源とは用途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分かりやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			20年度	21年度	22年度
活動指標	事業補助金 (ふれあいのまちづくり)		2,000,000	1,861,849	1,604,438
	事務局長等人件費補助金		12,186,819	7,983,016	9,884,413
成果指標	ふれあいのまちづくり事業参加者数 (在宅福祉事業参加者数)	在宅障害(児)者ふれあい交流交歓会・ひとり暮らし老人ふれあい交流交歓会・介護者の集い 参加者	541 (310)	466 (325)	349 (220)
	(福祉活動啓発事業参加者数)	こぶしボランティア大会・小中学生ボランティア体験教室 参加者	(231)	(141)	(129)
	社会福祉協議会の支援する社会福祉団体数	(団体：社会福祉協議会内事務局設置数)	7	7	6
	社会福祉大会参加者数	(人)	470	511	520
	ボランティア活動会員数	韮崎市ボランティアの会、朗読ボランティア、調理・配食ボランティア会員数合計	619	630	592
効率指標	ふれあいのまちづくり事業参加者1人当たり事業費	事業補助金/事業参加者合計 (円)	3,697	3,995	4,597
	社会福祉協議会の支援する社会福祉団体に要する人件費	人件費補助金/支援団体数 (円)	1,740,974	1,140,431	1,647,402

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない こどもから高齢者まで様々な世代の人を対象として実施された事業として、社会福祉、地域福祉、加えて介護支援の向上に関して妥当である		
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C 上がっていない 年々事業参加者が減少し、事業目的の達成に至らない状況がある。		
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input checked="" type="checkbox"/> C 効率的でない 事業補助金は個々の事業実施内容、規模の関係で減少しているが、参加者の減少で参加者一人当たりのコストが増していることは、実施内容、方法等改善を検討する必要がある。		
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input checked="" type="checkbox"/> C 期待以下の達成		
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える) <input checked="" type="checkbox"/> 効率化(結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、または廃止する) <input type="checkbox"/> 現行どおり		
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)		
	(1) 中長期的 社会福祉協議会は行政の直営ではないが、社会福祉、地域福祉推進の中心となる組織なので、生活支援も含めた介護予防事業をも実施できるだけの体制へ改善を求め、検討していく。	(2) 24年度	(3) 23年度 社会福祉協議会の実施する事業への取り組みについて、担当課において検証、改善指導をおこなう。
	22年度の改善計画		
22年度の改善結果			
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること) 社会福祉協議会は、子供からお年寄りまでさまざまな世代・人々を対象として、本市の社会福祉に関する公助だけでは行えない様々な事業を実施し、福祉の充実に寄与している。			
課長所見	社会福祉協議会の地域に果たす役割が十分発揮できるよう、事業内容の見直しも含め、引き続き支援していく。		